

多宝山

角田山

日本海

佐潟散策マップ

秋冬版



案内標柱

佐潟を歩く際には案内標柱(左)を目印にしましょう。マップと連動して①～⑬の標柱が設置されています。

佐潟水鳥・湿地センターを基点	距離	徒歩
野鳥観察舎までを往復	約1km	約25分
下潟のみを一周	約4km	約1時間
上潟と下潟を一周	約5.5km	約1時間30分

自転車の貸出しもあります!

西区無料レンタサイクル



●貸出返却場所
佐潟水鳥・湿地センター
(午前9時～午後4時)(休館日は除く)
※ご利用はありませぬ

野鳥観察舎



佐潟水鳥・湿地センター

開館時間/午前9時から午後4時30分
(11月から2月の土日は午前7時から)
休館日/月曜(祝休日の場合翌日)、
年末年始(12/29～1/3)



←至巻方面

赤塚下

赤塚連絡所前

↓至内野方面

番号	場所の呼名	呼名のいわれ、ようす	標柱の写真
1	さかたばし 佐潟橋	佐潟公園整備の際に建築され、現在は2代目の橋。佐潟の代表的景観が望める。	 コガモ カモの仲間が一番小さい。 佐潟ではマガモに次いで多い。
2	しぜんせいたいえん 自然生態園	木道が整備され、希少な水生植物や水生昆虫、魚も観察できる。	 カワセミ 飛ぶ宝石ともいわれる美しい鳥。
3	やちようかんさつしゃ 野鳥観察舎	愛称は「潟見鳥(かたみどり)」。水鳥の観察には、佐潟で最もよい場所にある。	 コハクチョウ 佐潟の代表的な水鳥。 日中は田んぼに出かけている。
4	すぎ 杉ダゴ (スギンダオ)	昔、ここに杉林があったという。現在も細い杉があり、面影を伝えている。	 コゲラ キツツキの仲間。 大きさはスズメくらい。
5	はな さか 花が坂	悲しい言い伝えからこの地名がついた。現在は、坂の痕跡がわずかに残るだけ。	 シロハラ ツグミの仲間。 地面や木の上でエサをとる。
6	こ わた みち 潜ぎ渡り道 ななみち (中道)	上潟と下潟を分ける道。現在は通称「中道(ななみち)」と言われている。	 キジ 佐潟周辺でよく見られる。
7	ひかりづか 光塚	昔、純金の観音菩薩、法具等が出たという伝説のあるところで、うっそうとしている。	 オオジュリン 晩秋と春先に ヨシ原で多く見られる小鳥。
8	おおしみず 大清水	かつて幾筋もの水路があり、清らかな冷たい水が湧き出していた。佐潟で最も上流にあたる。	 オオタカ カモを狙う猛禽類。 絶滅危惧種。
9	なごまつ 名子松	かつてこの地には立派な松林があり、地主に断り松葉拾いをしたという。	 ツグミ 庭先にも現れる。 地面でエサを探す。
10	めま 沼	下潟の北西岸一帯。現在は松が植栽され、中にある道は春や秋に心地よい。	 オジロワシ 翼長2mの大きな猛禽類。 カモを襲う。
11	はすこやば 蓮小屋場	蓮根採りが盛んな昔、ここに小屋をつくり、火で温まりながら潟に潜り蓮を採っていた。	 エナガ ジュリジュリと鳴き、 群れで行動する。
12	ながわり 長割	御手洗潟(みたらせがた)に面し、かつてはもっと高い砂山があった。	 マガモ 佐潟で最も多いカモ。
13	はなびば 花火場 (赤塚中学校)	昔、お祭りの際、草花火のほか、この地で打ち上げ花火がおこなわれていたという。	 ジョウビタキ 甲高く、ヒッ、ヒッと鳴く。 雄の胸の橙色が美しい。

●マップ製作：佐潟水鳥・湿地センター

住所 新潟市西区赤塚5404-1 電話025-264-3050

●公園についての問合せ：新潟市西区建設課

電話025-268-1000(代)

※このマップに掲載されているデータ・画像の転載・無断使用はできません。